

事業計画書

平成29（2017）年度



社会福祉法人 アドベンチスト福祉会

ケアハウス シャローム 桜山
グループホーム シャローム ミルトスの木 上白根
グループホーム シャローム ミルトスの木 鶴ヶ峰本町

平成29年度 ケアハウス・グループホーム事業計画の基本方針

施設長 成瀬志津子

【ケアハウス シャローム桜山】

シャローム桜山は、毎月開催される「入居者懇談会」で話し合うことを前提に「自立と自律」の施設として、機能させていきたいと考えています。（自立＝他の助力や支配なしに自分一人の力で物事を行う。自律＝他からの支配を受けず、自分の行動を自分の立てた規律に従って正しく規制する）

とはいえ、20周年となる今年は、高齢化、虚弱化する入居者の自立をどのようにフォローしていくかを考える初年とします。理念に基づいて必要なサービスを紹介、導入することや、家事援助の介入方法、緊急時の対応方法等について、ケアハウスでの安心・安全な生活の維持の為に入居者、ご家族とともにチャレンジしていきたいと考えます。建物、設備については順次補修、修繕、買い替え等が必要になる為、経費を節約しながら計画的に取り組みます。

【グループホーム シャロームミルトスの木 シャローム・ミルトスの木鶴ヶ峰本町】

シャローム ミルトスの木、上白根は開設14年目、鶴ヶ峰本町は12年目となります。

グループホームは認知症の方々にとっての「安心・安全」な我が家です。職員は、利用者の心配・気懸りを「引き受け・担う」という発想から、認知症についての知見を深め、技術を学び「あったかいいね」のモットーに基づいた支援に取り組んでいきます。同様の気持ちで、看取り支援をご家族、訪問医とともに行います。職員は、ターミナルケアにチャレンジして、共に学び、支えあっていきます。地域の一員として、自治会活動、地域防災活動などに参加し、地域の方が気軽に立ち寄っていただける環境を作ります。

平成29年度事業計画 部門名	計画責任者：氏名
ケアハウス シャローム桜山	成瀬 志津子
I	事業基本方針 法人の理念のもと、入居者の「自立と自律」を支援し、入居者に必要なサービスを見極め、紹介、提供していく。
II	業務目標 1 入居者の心身の状況を把握し、その相談に応じるとともに、入居者の自主性を重んじた助言・援助を行う。 2 地域の一員として自治会、地域ケアプラザ等との結びつきを大切に、地域の様々な資源を入居者へ紹介し介護予防に努める
III	事業数値目標 1 入居率 98%以上を維持できるように入退去及び待機者の管理を行い、速やかな入退去判定委員会の開催につなげる
IV	業務の改善・見直し （部門の従来からの欠点・弱点の改善） 1 職員の経験とスキルを蓄積する目的で業務マニュアルを更新し、日常の支援の向上につなげる。 2 各種契約書や指針等の書類を現状の社会通念にあった文言に見直しを行う。 3 介護施設の見学をして、入居者の心身の状況にふさわしい施設の紹介ができるようにする。
V	業務の強化・向上 （従来からの強み・良い点の強化向上） 1 緊急時に対応できるように個々の事例を職員全員で検討しマニュアル化することで、誰もが行えるようにする。 2 入居者懇談会を活用し、生活上の改善点について入居者とコミュニケーションを図りながら変えるべき点があれば変えていく。
VI	業務の新たな試み （新たなニーズへの対応・開発） 1 広報紙を入居者のコミュニケーションツールとして、介護予防、危機管理にも有効活用する。 2 入居者の心配・気懸りを「引き受ける・担う」という発想から、毎月の催し、活動を、啓蒙活動につなげていく。

平成29年度事業計画 部門名	計画責任者：氏名
シャロームミルトスの木 (上白根)	山口 里香
I	事業基本方針 1 利用者の能力に応じ、自立した日常生活を維持できるように支援していく。 2 尊厳ある終末期の支援を家族、訪問医との協力の中で行っていく。 3 事故防止委員会を中心に事故の防止、職員研修の充実を図る。
II	業務目標 1 安全な生活・・・防災訓練・避難訓練の充実をはかる。 2 健康な生活・・・感染症予防や蔓延防止の研修、投薬・配薬の研修を全員が受け健康な生活の支援に努める。 3 穏やかな生活・・・看取りの充実に向けての研修をする。 4 安定した収益基盤・・・入居率を上げ、業務改善とコスト削減を目指す。
III	事業数値目標 1 夜間想定避難訓練を年1回、火災や地震を想定した防災訓練を年2回行なう。 2 外気浴・散歩・買物などにより、1日1回外気に触れるよう誘導する。 3 サービス提供体制強化加算(Ⅲ)(3年以上継続勤務者を3割以上維持)を継続する。 4 入居率96%を目指す。
IV	業務の改善・見直し (部門の従来からの欠点・弱点の改善) 1 服薬管理について、研修を踏まえて間違いの無いように、システム、対応を全職員ができるように改善していく。 2 帳票類の見直しと標準化。 3 昨年度、立ち上げた事故防止委員会を軌道に乗せ介護事故の削減や介護の質の向上に努める。
V	業務の強化・向上 (従来からの強み・良い点の強化向上) 1 入居者・ご家族の心配・気懸りを「引き受ける・担う」という発想から見取りについて職員研修、体制を強化し、ご家族支援にも力をいれていく。 2 ケアプランの充実を図る。 3 運営推進会議を通じて地域の状況を把握し、行事参加等で、地域住民との交流を広げていく。
VI	業務の新たな試み (新たなニーズへの対応・開発) 1 外出の難しい利用者でも楽しめる食事やレクリエーションの提供を企画する。

平成29年度事業計画 部門名	計画責任者：氏名
シャロームミルトスの木 鶴ヶ峰本町	渡部 紀久
I	事業基本方針 1 利用者の能力に応じ、自立した日常生活を維持できるように支援していく。 2 尊厳ある終末期の支援を家族、訪問医との協力の下、行っていく。 3 事故防止委員会を中心に事故の防止、職員研修の充実を図る。
II	業務目標 1 安全な生活・・・防災訓練・避難訓練の充実をはかる。 2 健康な生活・・・感染症予防や蔓延防止の研修、投薬・配薬の研修を全員が受け健康な生活の支援に努める。 3 穏やかな生活・・・看取りの充実に向けての研修をする。 4 安定した収益基盤・・・入居率を上げ、業務改善とコスト削減を目指す。
III	事業数値目標 1 夜間想定避難訓練を年1回、火災や地震を想定した防災訓練を年2回行なう。 2 外気浴・散歩・買物などにより、1日1回外気に触れるよう誘導する。 3 サービス提供体制強化加算（Ⅲ）（3年以上継続勤務者を3割以上維持）を継続する。 4 入居率96%を目指す。
IV	業務の改善・見直し （部門の従来からの欠点・弱点の改善） 1 帳票類の見直しと標準化。 2 昨年度、立ち上げた事故防止委員会を軌道に乗せ介護事故の削減や介護の質の向上に努める。
V	業務の強化・向上 （従来からの強み・良い点の強化向上） 1 介護福祉士、介護支援専門員資格取得、実践者リーダー研修受講の資格取得の支援を行なう。 2 運営推進会議や地域主催の防災訓練、公園の清掃やお祭りに積極的に参加することにより地域住民との絆を強化する。
VI	業務の新たな試み （新たなニーズへの対応・開発） 1 認知症介護実践リーダー研修を終了し、認知症専門ケア加算（Ⅰ）の算定をめざす。